

[成果情報名]スミパインMCの1回空中散布による松くい虫予防効果

[要約]松くい虫防除のためのスミパイン MC 1回空中散布は予防効果がある。

[キーワード]松くい虫、スミパイン MC、空中散布、予防効果

[担当] 総合農林試験場・林業部・森林環境科

[連絡先]電話（代表）0957-26-3330、（直通）0957-26-4292

[区分] 林業（森林保護）

[分類] 行政

-----  
[背景・ねらい]

マツ材線虫病（松くい虫）によるマツの枯損被害は依然として続いており、松くい虫特別防除（空中散布）は毎年実施する必要がある。本県では防除方法として 2004 年からスミパインMCによる 1回散布を行っている。そこで、防除を継続している散布区と 2005 年から防除を取りやめた無散布区を調査対象として、試験地を平戸市生月町に設置し、その予防効果を検証する。

[成果の内容・特徴]

1. スミパイン MC の散布枝、無散布枝によるマツノマダラカミキリ成虫の飼育の結果、後食防止効果は9週間認められ（図1、図2）、マツノマダラカミキリの発生期間の2ヶ月間に対応している。
2. 空中散布区（火口山）と、取りやめた無散布区（山頭）では、被害率の推移に明確な違いがあり（表1、図3）、スミパイン MC の1回散布による予防効果がある。

[成果の活用面・留意点]

1. 森林病虫害等防除協議会等でのマツ材線虫病防除事業の参考にできる。
2. 野外での防除は、いかに低い被害率に抑制し続けるかが重要である。
3. 空中散布はあくまで予防措置。感染源の除去である伐倒駆除の徹底が重要である。

[具体的データ]

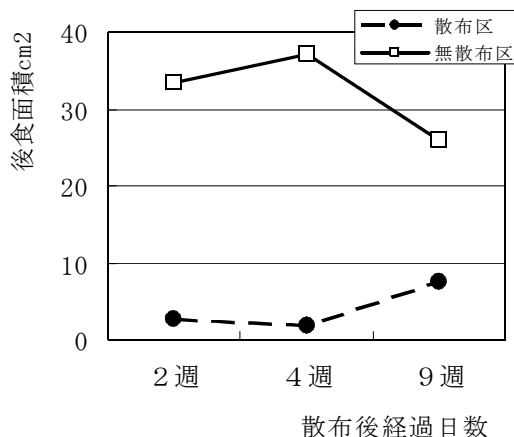
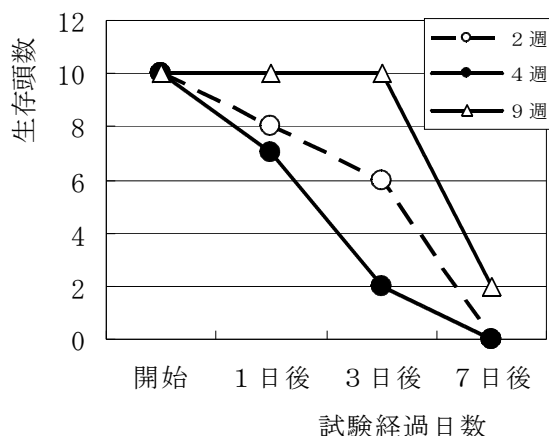


図1 マツノダラカミキリ生存頭数の推移

図2 マツノダラカミキリ後食面積の推移

表1 被害の推移

地区・年	火口山(散布区)			山頭(無散布区)		
	健全木(本)	被害木(本)	被害率%	健全木(本)	被害木(本)	被害率%
2005	1,578	35	2.17	277	21	7.05
2006	1,521	57	3.61	199	78	28.16
2007	1,434	87	5.72	22	177	88.94

注1) 胸高径5cm以上を調査

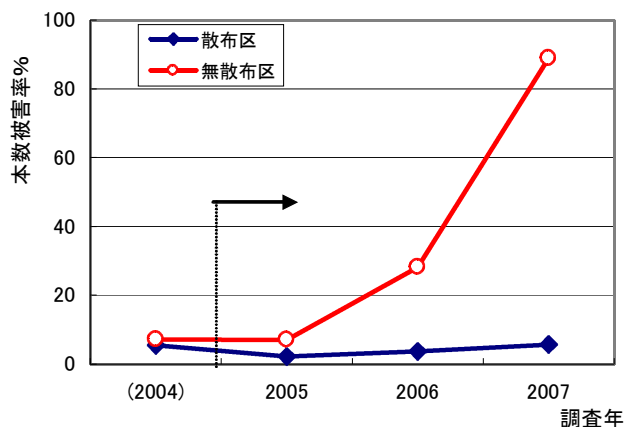


図3 被害率の推移(2004年まで両区とも散布実施)

[その他]

研究課題名：松くい虫発生予察事業（林務課委託）

予算区分：県単

研究期間：2005～2007年度

研究担当者：吉本貴久雄、森口直哉